

① 制度の概要

ディープテック・スタートアップが海外市場へ展開する際に、海外企業との共同研究開発を支援する制度です。NEDOと相手国側の研究開発・イノベーション支援機関が並行して、それぞれ自国企業の研究開発費用の一部を助成します。

対象国は15カ国（カナダ、フランス、ルクセンブルク、ベルギー、デンマーク、ノルウェー、スペイン、スウェーデン、オーストリア、韓国、リトアニア、シンガポール、南アフリカ、イスラエル、英国）。欧州を中心とする各国のネットワークEureka Globalstarsスキームを活用した多国間共同公募です。安全保障貿易管理の観点から、外国ユーザーリスト掲載企業や国連武器禁輸国は対象外。公募説明会を全3回開催（第2回11/27、第3回12/15）。

② 支援内容

海外企業との共同研究開発費用を助成。助成対象期間は原則2~3年

最大1億円

助成率：2/3以内

③ 対象となる取組

【対象技術分野】

- 経済産業省所管の鉱工業技術（原子力除く）
- 量子、AI、ロボティクス、半導体
- エネルギー・環境、バイオテクノロジー
- 新素材、医療機器、航空宇宙等
- 創薬支援技術、医療検査技術等の複合技術

【対象経費】

- 人件費（給与・賞与・社会保険料）
- 試作・材料・消耗品費
- 測定・評価用機器費
- 外注費（海外共同研究機関等への委託）
- 旅費（研究開発のための海外渡航費）

※医薬品開発及び再生医療等製品開発は原則対象外

④ 対象者

- 日本に登記された未上場の中小企業（主要な研究開発拠点が日本国内）
- 主任研究者は日本の居住者であること
- 相手国側企業等と共同研究契約（CA）締結可能
- 創業10年以内が目安（成長志向企業）
- 売上高研究開発費割合5%以上が目安
- 課税所得の年平均額が15億円以下
- みなし大企業、大企業の持分法適用会社は原則対象外（J-Startup等は例外あり）

⑤ 採択率向上のポイント

- 海外パートナーとの事前調整：相手国側企業を特定し、共同研究の実現可能性を十分に確認してから応募すること
- 知財管理能力の明示：共同研究契約（CA）ドラフトに知財取扱条項を明記。INPITの支援窓口活用も有効
- 技術的優位性の明確化：日本のディープテックが海外市場で勝てる理由を具体的にアピール
- 事業化計画の具体性：研究終了後の海外展開シナリオを詳細に示すこと

⑥ 戰略的分析

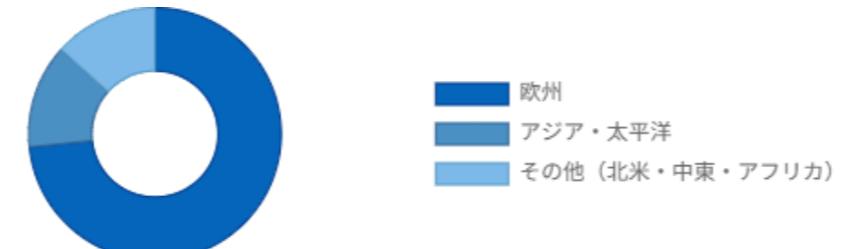
【Eureka Globalstars活用の利点】

- 欧州15カ国の支援機関ネットワークを一度に活用できる
- 両国政府から同時支援を受け、研究開発費の大部分をカバー可能
- 海外パートナー探しをb2matchプラットフォームで効率化

【国際競争力強化の視点】

- 量子、AI、半導体等の重点分野で日本の技術を海外市場へ
- 海外規制・標準化動向を共同研究を通じて早期把握
- 相手国市場での信頼性と認知度を同時に構築できる

⑦ 対象国の支援機関分布



対象国（15カ国）：ヨーロッパ11カ国、アジア・太平洋2カ国、その他2カ国

特徴：各々の支援機関が独自の助成基準を設定。相手国側も並行支援を実施

⑧ 技術分野と対象国の相性

技術分野	推奨対象国・強み
量子・半導体	フランス、オーストリア、シンガポール
AI・ロボティクス	スウェーデン、英国、イスラエル、韓国
エネルギー・環境	デンマーク、ノルウェー、スペイン
バイオ・医療機器	ベルギー、ルクセンブルク、カナダ
新素材・航空宇宙	南アフリカ、リトアニア、フランス

⑨ 専門家活用のススメ

- 国際契約の専門知識：共同研究契約（CA）の知財条項は専門家によるレビューが不可欠
- 海外規制対応：相手国の輸出管理規制、安全保障貿易管理への対応支援
- 提案書の戦略設計：技術優位性と事業化計画を効果的に表現
- 複数システム対応：NEDO様式、Eureka SmartSimple、e-Rad登録を漏れなく完了

⑩ 必要書類とチェックポイント

提出書類	チェックポイント
NEDO様式 提案書（日本語）	<input type="checkbox"/> 技術的優位性を具体的データで明示 <input type="checkbox"/> 海外展開の事業化計画を詳細に記載
Eureka SmartSimple オンライン入力	<input type="checkbox"/> 日本側・相手国側代表提案者両方が入力 <input type="checkbox"/> 別添8の参考様式を参照
共同研究契約書 (CA) ドラフト	<input type="checkbox"/> 知財取扱条項を必ず明記 <input type="checkbox"/> Eureka SmartSimpleにアップロード
e-Rad登録	<input type="checkbox"/> 所属機関のログインID取得 <input type="checkbox"/> 登録に2週間以上かかる場合あり
財務関連書類	<input type="checkbox"/> 自己負担分の調達能力を証明 <input type="checkbox"/> 課税所得証明（直近3年平均）

*このレポートは生成AIにて作成されています【2025/11/7作成】

⑪ 申請スケジュール

事前準備期間

相手国側企業の特定と事前調整が必須。共同研究契約（CA）ドラフト作成に2~3ヶ月。b2matchプラットフォームでパートナー探索可能。知財面はINPITの支援窓口活用を推奨。

公募期間

2025年10月14日（火）～2026年1月21日（火）正午

NEDO様式+Eureka SmartSimple+e-Radの3つのシステムすべてに登録必須。
※e-Rad登録には2週間以上の余裕を持つこと

審査期間

2026年2月～3月頃（予定）
日本側と相手国側で並行審査実施

採択結果通知

2026年4月頃（予定）

交付決定・事業開始

交付決定通知後、原則2~3年間の研究開発期間

⑫ 問い合わせ

制度詳細	https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100502.html
Eureka Globalstars	https://www.eurekanetwork.org/programmes-and-calls/globalstars/globalstars-call-with-japan/
パートナー探索	https://www.b2match.com/e/eureka-globalstars-japan
お問い合わせ	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO） スタートアップ支援部 国際コファンドチーム ※2026年1月14日（水）まで受付 ※お問い合わせは制度詳細ページよりE-mailでお問い合わせください。